

平成28年11月1日

発行：大島交流センター

電話：45-1006

ニュース・情報

お寄せください。



～重点目標～

- 1) 高齢者が楽しみながら健康維持できる推進事業
- 2) 歴史と自然を守り
伝統文化の伝承
- 3) 住民どうしのつながりと
安全・安心なまちづくり



秋季全国火災予防運動

1. 実施期間

平成28年11月9日から11月15日まで

2. 目的

火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させ、財産の損失を防ぐことを目的として、毎年この時期に実施しているものです。

3. 重点目標

- (1) 住宅防火対策の推進
- (2) 放火火災・連続放火火災防止対策の推進
- (3) 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
- (4) 製品火災の発生防止に向けた取組みの推進

4. 全国統一防火標語

『消しましょう その火その時 その場所で』



消 太

新居浜市消防本部



文化祭のご案内

晩秋の候、地域の皆様方には、交流センター事業を推進するにあたり、ご指導ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、ご案内の交流センター事業の最大のイベントであります『校区文化祭』を、地域の方々のご協力をいただき下記要領で開催いたします。限られた時間ではございますが、お楽しみいただければ幸いです。ご近所、お誘いあわせの上、ご来館くださいますようご案内申し上げます。

記

○日 時 : 11月6日(日) 午前9時30分開場～
午後1時

○場 所 : 大島交流センター会議室

☆作品展示・手芸品・絵手紙・ポーセラーツ・書
・染物・ちぎり絵・農産物 等

★ボーイスカウトによるお接待(東京ケーキIN餡子)

以上

※作品搬入受付のお願い

作品搬入は、11月2日(水)4日(金)の二日間です。
お手数ですが、交流センターまでご持参ください。

※バザーコーナー(引き渡しは、10時30分～12時 交流センター玄関フロア)

- ・バラ寿司・赤飯・いなり寿司
- ・よもぎ餅・小餅・おはぎ

(注) 引き換え時には、必ず引換券をご持参ください。

※健康相談(お気軽にご相談ください)

場 所 交流センター2階和室

時 間 午前9時30分～12時まで

内 容 『砂糖の取り過ぎに注意しよう!』

をテーマに実施します。

血圧測定・大腸がん検診の回収と個別健康相談等





朝冷えや遠くに聞ける汽車の音

大島俳句同好会

ヤエ子



眠らんと灯を消したれば外は晴れて
窓は絵のごと伊予富士に月

ヤエ子



没つ陽に首のべて咲く道の辺の
秋の桜に虫の音は澄む



ひっそりと雨に濡れるしき庭辺の
ダツラの花の匂ひあまかり

貞子

大島短歌同好



行事予定

- 1日(火) 館長部会
- 2日(水) 講座：絵手紙
- 3日(木) 文化の日：休館日
- 4日(土) 校区文化祭準備
- 6日(日) 校区文化祭
- 10日(木) 県人権・同和教育研究大会
- 13日(日) 新居浜市長選挙
- 22日(火) 主事部会
- 23日(水) 勤労感謝の日：休館日



家具を固定し地震被害を防ぎましょう

愛媛県地震被害調査では、南海トラフ巨大地震による屋内転倒落下物等による死者は、家具等の転倒防止対策の実施により約7分の2に軽減されると想定されます。

このようなことから、高齢者などの世帯を対象に、**家具転倒防止等推進事業**を実施しています。

安全な住まいづくりの第1歩として、是非ご活用ください。

対象世帯

- 市内に居住し、次のいずれかに該当する人のみの世帯
- ① 65歳以上の人
- ② 介護保険法に基づく、要介護度が要支援1、2または要介護1～5の認定を受けた人
- ③ 身体障害者手帳1、2級を所持している人
- ④ 療育手帳を所持している人
- ⑤ 精神障害者保健福祉手帳を所持している人

内容

1世帯につき、家具固定器具3点及びガラス飛散防止フィルム4枚の施工に係る費用を市が負担します。

家具を固定する器具、ガラス飛散防止フィルムの購入に要する費用を負担していただきます。

申込

家具転倒防止等推進事業申請書に必要事項を記入し、防災安全課へ提出をしてください。(郵送可)

詳細は、防災安全課までお問い合わせください。



新居浜市役所 市民部 防災安全課
TEL (0897) 65-1282
FAX (0897) 33-5180

☆☆ 防災研修参加お礼 ☆☆

10月14日(金)に実施しました、川西コミュニティーセンターでの研修に参加頂いた皆様、ありがとうございました。

川西地区自主防災組織の取組みには、目を見張る事が沢山あったと思います。大島では、なかなか真似出来ない事が多いですが、色々な取組みをされている先進地研修に参加する事によって、少しでも大島だから出来る事を発見して行きましょう。そして、自分達に出来る事を実践して行くようにお互い協力していけたらと思います。

交流センター職員一同